



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社  
 コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庄司 宇秀  
 (氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,679	△13.2	1,237	0.1	951	15.7	846	256.0
23年3月期第3四半期	18,074	11.4	1,235	—	822	—	237	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 767百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
24年3月期第3四半期	10.67	—	
23年3月期第3四半期	3.00	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
24年3月期第3四半期	32,264	—	6,396	19.6	—	—	79.55	—
23年3月期	32,441	—	5,444	16.8	—	—	68.53	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,308百万円 23年3月期 5,434百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	△5.2	1,750	1.7	1,200	1.9	1,150	48.9	14.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	79,442,038 株	23年3月期	79,442,038 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	140,079 株	23年3月期	138,419 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	79,302,730 株	23年3月期3Q	79,305,562 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州における金融不安に起因する欧米諸国の景気減速や中国の成長鈍化、ドルに加え対ユーロの円高の進行、タイ洪水の影響による一部サプライチェーンの混乱などの要因も重なり、景気の先行きは長期的な減速含みの厳しい状況となりつつあります。

このような環境のなかで当社グループは、化成品事業・機械事業・電子材料事業及びその他の各事業の競争力の強化を目指すとともに、経費削減の継続などに重点的に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は、シリコンウェハー再生事業から撤退した事を主因として、売上高は156億79百万円（前年同期比13.2%減）と減少したものの、営業利益12億37百万円（前年同期比0.1%増）とほぼ横這いとなり、経常利益9億51百万円（前年同期比15.7%増）、四半期純利益は8億46百万円（前年同期比256.0%増）と増益となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①化成品事業

燐酸などの燐系製品は、期後半にユーザーの生産調整の影響から減速傾向がでてきたものの、一般品および二次塩類等の出荷量は増加となりました。しかし、電子工業向け高純度品の減少が響き、若干の減収となりました。

水処理用などの凝集剤は、上下水道向けの出荷数量は比較的堅調に推移したものの、民間向け一部製品が顧客稼動状況の低下を受けて減収となりました。コンデンサー向け原料は、ユーザーの生産調整の影響を受け若干の減収となりました。また、消臭剤は、出荷量の増加基調は変わらず増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、102億51百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、9億42百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

#### ②機械事業

破碎関連機械につきましては、東日本大震災の影響による投資意欲の低減から、単体・部品販売は、前年を下回りましたが、プラント販売は、大型選別プラント竣工が寄与したことから、増収となりました。鋳鋼品は販売量の拡大により増収となりました。下水道関連の掘進機は、雨水排水対策向けの大型レンタル物件の受注が堅調裡に推移しましたが、円高の影響もあり本体の輸出が大きく減少し、売り上げは微減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、29億53百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億43百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

#### ③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、携帯電話など情報通信機器、光デバイスの在庫調整の影響が、秋口以降本格化してきたことから、ガリウムの出荷量が大幅に減少し、他製品も同様な影響により減少傾向に転じたことから、売り上げは減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、シリコンウェハー再生事業撤退による減収もあり12億24百万円（前年同期比60.0%減）と大幅に減少したものの、セグメント利益（営業利益）は、3億11百万円（前年同期比101.3%増）となりました。

#### ④その他

石油精製用触媒の再生事業は、顧客設備の震災被害の回復が進んだことで、販売増に寄与したこともあり増収となりました。精密機械加工は、液晶製造装置向け需要の急激な落ち込みが続いており、大幅な減収となりました。不動産の賃貸は、旧再生ウェハー関連工場建屋の賃貸も加わったため、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、12億50百万円（前年同期比14.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、4億50百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて5億48百万円増加し、155億99百万円となりました。この主な増減理由としては、現金及び預金の増加5億85百万円、及びたな卸資産の増加3億47百万円があった一方、その他の流動資産（主に未収入金）が6億39百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて7億25百万円減少したことにより、166億65百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少6億27百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として長期借入金の減少8億83百万円、及び短期借入金の減少2億96百万円などによって、前連結会計年度末に比べて11億29百万円減少し258億67百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、主として四半期純利益8億46百万円の計上、少数株主持分が78百万円増加したことなどによって、前連結会計年度末に比べて9億52百万円増加し63億96百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は322億64百万円となり、自己資本比率は19.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しといたしましては、米国の景気回復期待はあるものの、新興国の成長鈍化、タイの洪水によるサプライチェーンへの影響に加え、欧州における債務危機などのリスクが存在しております。また、国内では東日本大震災に関する復興需要が見込まれますが、電力供給の不安、円高の継続、またこれらが工業生産の海外移転の動きを惹起するなど、景気の先行きには、不安定要因が存在します。

このような見通しの中、化成品事業においては、秋以降にエレクトロニクス市場における在庫調整が顕在化してきたことから、電子部品向け製品の売上が減少する見通しであります。また電子材料事業においても、発光素子関連市場における在庫調整が拡大してきたことから、高純度無機素材の今後の収益は厳しいものになると想定しております。機械事業においては、下水道関連の掘進機の海外向け販売が当初予測に比べ下振れとなる見込みですが、破碎関連機械は、一部物件の販売が来期以降にずれ込む可能性があるものの、震災復興関連が予想以上の受注となりました。

このような見通しを踏まえ、通期業績見通しにつきましては、先行きに多くの不透明要素がある一方で、第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移していることから、現時点では見直しを行わないことといたします。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,700	5,285
受取手形及び売掛金	6,435	6,684
商品及び製品	1,265	1,451
仕掛品	940	1,253
原材料及び貯蔵品	815	663
その他	932	293
貸倒引当金	△39	△32
流動資産合計	15,050	15,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,090	5,769
機械装置及び運搬具(純額)	2,832	2,400
工具、器具及び備品(純額)	342	328
土地	5,183	5,137
リース資産(純額)	37	37
建設仮勘定	24	210
有形固定資産合計	14,511	13,884
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	33	29
無形固定資産合計	953	948
投資その他の資産		
投資有価証券	1,110	1,159
その他	840	701
貸倒引当金	△25	△28
投資その他の資産合計	1,925	1,832
固定資産合計	17,390	16,665
資産合計	32,441	32,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,396	3,435
短期借入金	12,543	12,246
未払法人税等	30	40
賞与引当金	94	47
災害損失引当金	114	37
その他	1,477	1,657
流動負債合計	17,656	17,464
固定負債		
長期借入金	6,906	6,022
退職給付引当金	1,523	1,562
その他	910	817
固定負債合計	9,340	8,403
負債合計	26,997	25,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△2,724	△1,788
自己株式	△34	△34
株主資本合計	5,684	6,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	△199
為替換算調整勘定	△62	△111
その他の包括利益累計額合計	△249	△311
少数株主持分	9	88
純資産合計	5,444	6,396
負債純資産合計	32,441	32,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	18,074	15,679
売上原価	13,509	11,512
売上総利益	4,565	4,167
販売費及び一般管理費	3,329	2,929
営業利益	1,235	1,237
営業外収益		
受取配当金	23	21
受取地代家賃	28	30
助成金収入	80	82
貯蔵品売却益	—	56
その他	43	70
営業外収益合計	176	261
営業外費用		
支払利息	358	286
為替差損	27	97
休止鉱山鉱害対策費用	84	70
その他	119	94
営業外費用合計	589	547
経常利益	822	951
特別利益		
保険差益	—	41
土地売却益	371	19
投資有価証券売却益	93	—
賞与引当金戻入額	64	—
その他	16	—
特別利益合計	546	61
特別損失		
減損損失	—	34
災害による損失	—	28
投資有価証券評価損	219	24
事業整理損	808	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	47	—
その他	—	34
特別損失合計	1,075	122
税金等調整前四半期純利益	292	890
法人税、住民税及び事業税	80	56
法人税等調整額	△26	△16
法人税等合計	53	39
少数株主損益調整前四半期純利益	238	850
少数株主利益	1	4
四半期純利益	237	846



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	△12
為替換算調整勘定	△21	△70
その他の包括利益合計	△283	△82
四半期包括利益	△44	767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45	784
少数株主に係る四半期包括利益	0	△16

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,578	2,978	3,061	16,618	1,456	18,074	—	18,074
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26	—	—	26	49	76	△76	—
計	10,604	2,978	3,061	16,644	1,505	18,150	△76	18,074
セグメント利益	1,062	305	154	1,522	497	2,020	△784	1,235

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△784百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△785百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,251	2,953	1,224	14,429	1,250	15,679	—	15,679
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	—	19	32	64	96	△96	—
計	10,263	2,953	1,244	14,461	1,314	15,776	△96	15,679
セグメント利益	942	243	311	1,497	450	1,948	△710	1,237

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△710百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△704百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「電子材料事業」に含まれていたシリコンウェハー再生事業は、前第3四半期連結会計期間末をもって撤退しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。